

平成23年5月13日

報道関係各位

## 愛鳥モデル校「福生第五小学校」が環境大臣賞を受賞

5月15日(日)の表彰式に福生五小児童が出席し、環境大臣より授与、

5月17日(火)には福生市長を表敬訪問し受賞のよろこびを報告します

### 受賞の経緯

福生第五小学校は昭和47年から東京都愛鳥モデル校に指定され、その後39年にわたりバードウォッチングや巣箱かけ、営巣調査などの愛鳥活動を続けています。また、校内では愛鳥委員会やクラブ活動で愛鳥新聞やカレンダーを発行したり、年間を通して愛鳥集会や1分間バードウォッチングを行うなど愛鳥教育が学校教育の一環として取り入れられています。

このような活動が認められ、福生第五小学校が今年度の野生生物保護功労者表彰の環境大臣賞を受賞します。全国から選ばれた6件の受賞者のうちに入ったものです。

この表彰は、環境省と(財)日本鳥類保護連盟が、愛鳥週間(5月10日~16日)にあたり、野生生物保護に関して特に顕著な功績があった方(団体)の功績を讃えるため、5月15日に「全国野鳥保護のつどい」(会場:新宿区「ヒルトン東京」)において行われるものです。

「全国野鳥保護のつどい」は常陸宮同妃両殿下ご臨席のもとで行われ、福生五小の児童と保護者、校長等が招待され、環境大臣より表彰されます。

また、子どもたちは「つどい」で行われる、江戸家猫八さんのトークイベントにも参加し、日ごろの愛鳥活動を披露する予定です。

### 福生市長を表敬訪問

表彰式後、福生五小の児童、校長等が5月17日(火)に加藤育男福生市長を表敬訪問し、受賞の喜びと日ごろの活動を報告します

- ・日時 5月17日(火)午後4時から
- ・場所 福生市役所 第一棟4階応接室

### 【福生五小の愛鳥活動の特徴】

- ・ 昭和55年から30年間継続し、野鳥に親しみ理解を深める教育活動を継続し、併せて多摩川河川敷の清掃活動や自然環境保護にも尽くしている
- ・ 地域のNPO法人自然環境アカデミーの協力を得て、各学年ごとに野鳥観察会を行っている
- ・ 6年生による巣箱作成と営巣調査を行っている
- ・ 児童に対し、「愛鳥博士」や「スーパー愛鳥博士」の認定を行い、学習の動機付けを行っている

問合せ 福生市教育委員会事務局 庶務課 庶務係(電話042-551-1930)